

嶺小学校 適正規模地区委員会だより

嶺小学校適正規模地区委員会 平成 25 年 3 月 15 日 No. 10

第 10 回「嶺小学校適正規模地区委員会」の報告

第 10 回嶺小学校適正規模地区委員会を 2 月 28 日に嶺小学校で開催しました。

前回（第 9 回）の地区委員会で、今後の嶺小学校の在り方については保護者の意見を尊重することが確認され、それをもとに地区委員会としての方向性をまとめていくこととなりました。この地区委員会の意向を受け、保護者会では 10 月から 11 月の間に 2 回の話合いの場を設け、議論を重ね、保護者会としての結論を出しました。今回の地区委員会で、保護者会の報告をもとに、今後の嶺小学校の在り方について、地区委員会としての方向性をまとめました。協議の概要は下記のとおりです。

記

○ 保護者会の報告

- ・ 10 月 10 日に保護者会を開き、様々な意見を出し合ったが、保護者会としての結論を出すまでには至らず、そのため、再度保護者会を開催し、結論を出すこととなった。
- ・ 11 月 7 日に再度保護者会を開き、「統合」か「存続」か、保護者全員の意思確認を行った。その結果、「統合 13」「存続 8」となり、保護者会としては統合の方向であることを地区委員会に報告することを確認した。
- ・ 「統合」という結論に至ったが、これは保護者の苦渋の末での決断であり、「存続」を望む保護者の声にも耳を傾けてほしい。

○ 協議で出された主な意見

- ・ 統合にはメリットもデメリットもある。教育の場を与えるのは親である。子どものために何が大事か考えなければならない。
- ・ 保護者会の意見が最も大事である。地区委員会でも保護者の意見を尊重するという事で会議を進めてきた。保護者会の結論を優先としたい。
- ・ 統合の方向になったとしても、子ども達には時間をかけてよく話をして、理解できるようにしてほしい。
- ・ 統合した場合、いじめの問題が心配である。子ども達のスムーズな交流ができるよう十分な準備が必要である。
- ・ 児童数 5 人でも、地域に支えられて成り立っている学校もある。そういった学校があることを認識してほしい。
- ・ 学校がなくなってしまうたら、地域と子どもとの絆がなくなってしまう。
- ・ まだ生きている学校を閉じるのは辛い、児童数が減少し、日常の遊びもできない状態にある。「統合」を前提に、子ども達に良い環境を作っていくことを考えたい。

○ 協議のまとめと報告書の作成

- ・ これらの協議を踏まえて、地区委員会としては、「統合」が望ましいという方向性にまとまりました。
- ・ 次回の地区委員会では、これまでの協議結果をまとめた報告書について協議する予定です。なお、この報告書は、後日、市教育委員会に提出することとなります。

◆ 「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」は教育委員会ホームページでご覧いただけます
(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/257/004/p003248.html>)

＜「地区委員会だより」も後日ホームページ上に掲載いたします＞

◆ 問い合わせ：前橋市教育委員会学校教育課教育企画係 電話：898-5865 FAX：221-3418